

# テント設営

## 1 活動の流れ

**1 ケース入り**  
ハンマー、ペグ、フライシート、本体、ハンマー

**2** 三角窓が付いた面が側面  
タグが付いた面が入口側(玄関)  
すのこの角を挟むように打つ

**3** ポールとポールをつなぎ合わせる。

**4** 組み立てた2組のフレームをテント本体の上に十字に交差するように移動させて置く。

**5** 本体天井の黒色のフックを上側のフレームの中央付近にかける。

**6** フレーム脚、アルミプラグ

**7** 本体屋根部4か所の黒いゴム(大)をフレームのソケット(白い部品)に引っかける。  
※ハンドルループの利用

**8** 本体側面の黒いフックをフレームにかけて、本体とフレームを固定する。

**9** フライシートを広げ、テント本体に被せる。(入口側と反対側を持ち、横にスライドさせるように被せる。)  
※マークのついている所が入口側になる。

**10** 差し込んだポールに上から下への力を加えない。

**11** フライシート上部内側のフックを⑩で差し込んだポールの先端に引っかける。

**12** フライシート裾のフック(小さな黒いゴムについている)8つをテントの四隅のリングにかける。

**13** 出入口のフライシート裾のフックを引っ張り、先の所にペグを打ち込む。打ち込んだペグにフックをかける。(前室)  
※前室を開けておく時は、ペグをテント入口近くに移動させておく。(怪我防止)

**14** テント内に銀マットを敷き、完成。  
※フレーム袋をバッグに入れ、テント内に置く。

## 2 活動の留意点

- ・まわりをよく見ながら安全に注意して設営する。
- ・テントの配置を考えてから設営する。  
※指導者テントは、全体の様子把握できる位置に
- ・用具は丁寧に扱う。(特にファスナーの開閉)
- ・テントを離れる際は、ファスナーを閉める。
- ・天候や気温等により、網戸にして風通しをよくする。



# テント撤収

## 1 活動の流れ



①フライシート裾のフックをはずし、風通しをよくしてシートと本体を乾かす。乾かした後、フライシートをはずし、テント本体の入口側下のファスナーだけ開け、他は閉める。



②フライシートのかさの部分を持って2つ折りにする。(マーク側のファスナーは開けておく。)



③とびらの三角の部分折り畳む。



④裾の三角部分を折り畳み、長方形の形にする。



⑤折り畳んだ三角部分が内側になるように2つ折りにする。



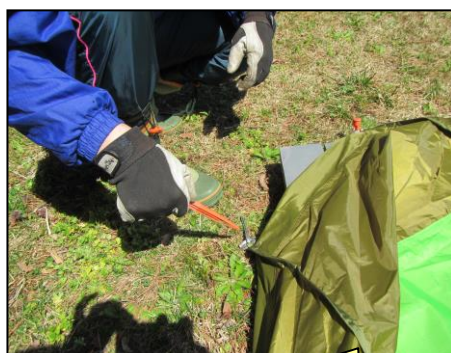
⑥端からマーク側に向かって空気を抜きながら丸める。(フライシートの片づけ終了)



### フレームのしまい方



⑦設営と逆の順序で、テント本体からフレームを外して折り畳み、袋にしまう。  
※フレームは、1組目をソケット部分を下にして半分程度袋に入れ、続けて2組目はソケットを上にして入れるとスムーズに入れることができる。



⑧本体を固定しているペグを抜き、土を落としてからペグのケースに戻す。



⑨本体屋根部の黒いゴムを中心に集めるようにして本体の形を整える。テントの四隅を出入口の中央に向かって折り畳む。



⑩さらに2つ折りにして、細長い長方形の形にする。



⑪端から入口側に向かって空気を抜きながら丸める。(テント本体の片づけ終了)

## 2 活動の留意点

- ・撤収前に、テント内の荷物を片づけ、テント内の清掃を行う。(銀マットは、器具庫に片付ける。忘れ物の確認をする。)
- ・フライシートとテント本体を乾かした後、テント本体のファスナーは閉める。  
ただし、入口(玄関)下側のファスナーのみ開けておく。※目印：タグ
- ・まわりをよく見ながら安全に注意して撤収する。
- ・テント用具が揃っているか確認して片付ける。(破損等があった場合は、青少年の家職員に申し出る。)
- ・テントが雨で濡れていたり、天候が悪い場合等は、青少年の家職員と撤収のしかたについて協議する。



⑫テント本体、フライシート、フレーム袋をテントバッグに入れ、バッグを器具庫の元の場所に片付ける。